【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成26年12月18日(2014.12.18)

【公開番号】特開2013-196213(P2013-196213A)
【公開日】平成25年9月30日(2013.9.30)
【年通号数】公開・登録公報2013-053
【出願番号】特願2012-61212(P2012-61212)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　3/12　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　13/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　3/12　Ｋ
Ｇ０６Ｆ　13/00　５４７Ｖ
Ｈ０４Ｎ　1/00　１０７Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成26年11月5日(2014.11.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
上述した課題を解決し、目的を達成するために、本発明の情報処理装置は、通信インタフェイスと、前記通信インタフェイスを介して、第１の機器から該第１の機器の使用に関連した第１の二酸化炭素排出量を含む、該第１の機器に特有の第１使用状況情報を受信し、第２の機器から該第２の機器の使用に関連した第２の二酸化炭素排出量を含む、該第２の機器に特有の第２使用状況情報を受信する収集部と、前記第１使用状況情報及び前記第２使用状況情報を記憶する記憶部と、出力情報に関する出力対象情報を受け付ける受付部と、記憶された前記第１使用状況情報に含まれる前記第１の二酸化炭素排出量から、単位時間あたりの二酸化炭素排出量である第１処理効率を算出し、記憶された前記第２使用状況情報に含まれる前記第２の二酸化炭素排出量から、単位時間あたりの二酸化炭素排出量である第２処理効率を算出する演算部と、前記第１処理効率及び前記第２処理効率に基づいて、前記第１の機器と前記第２の機器のうち、前記出力情報に対応する前記出力情報を出力する場合に二酸化炭素排出量が少ない方を、前記出力情報を出力するための出力機器として特定する特定部と、を備える。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本発明の情報処理システムは、通信インタフェイスと、前記通信インタフェイスを介して、第１の機器から該第１の機器の使用に関連した第１の二酸化炭素排出量を含む、該第１の機器に特有の第１使用状況情報を受信し、第２の機器から該第２の機器の使用に関連した第２の二酸化炭素排出量を含む、該第２の機器に特有の第２使用状況情報を受信する収集部と、前記第１使用状況情報及び前記第２使用状況情報を記憶する記憶部と、出力情報に関する出力対象情報を受け付ける受付部と、記憶された前記第１使用状況情報に含ま

れる前記第１の二酸化炭素排出量から、単位時間あたりの二酸化炭素排出量である第１処理効率を算出し、記憶された前記第２使用状況情報に含まれる前記第２の二酸化炭素排出量から、単位時間あたりの二酸化炭素排出量である第２処理効率を算出する演算部と、前記第１処理効率及び前記第２処理効率に基づいて、前記第１の機器と前記第２の機器のうち、前記出力情報に対応する前記出力情報を出力する場合に二酸化炭素排出量が少ない方を、前記出力情報を出力するための出力機器として特定する特定部と、を備える。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
本発明の情報処理方法は、第１の機器、第２の機器、及び情報処理装置によって実行される情報処理方法であって、前記第１の機器から前記情報処理装置に、該第１の機器の使用に関連した第１の二酸化炭素排出量を含む、該第１の機器に特有の第１使用状況情報を送信するステップと、前記第２の機器から前記情報処理装置に、該第２の機器の使用に関連した第２の二酸化炭素排出量を含む、該第２の機器に特有の第２使用状況情報を送信するステップと、出力情報に関する出力対象情報を前記情報処理装置に送信するステップと、算出された第１処理効率、第２処理効率、及び前記出力対象情報に基づいて、前記情報処理装置によって前記第１の機器と前記第２の機器とから前記出力情報を出力するための出力機器として特定された出力機器の情報を画面に出力するステップと、を含み、前記特定された出力機器は、前記出力情報を出力する場合の二酸化炭素排出量が前記第１の機器と前記第２の機器のうちの他の機器よりも少なく、前記第１処理効率は、前記情報処理装置によって、前記情報処理装置に記憶された前記第１使用状況情報に含まれる前記第１の二酸化炭素排出量から算出され、前記第２処理効率は、前記情報処理装置によって、前記情報処理装置に記憶された前記第２使用状況情報に含まれる前記第２の二酸化炭素排出量から算出され、前記第１処理効率及び前記第２処理効率は単位時間あたりの二酸化炭素排出量である。

【手続補正４】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
通信インタフェイスと、
前記通信インタフェイスを介して、第１の機器から該第１の機器の使用に関連した第１の二酸化炭素排出量を含む、該第１の機器に特有の第１使用状況情報を受信し、第２の機器から該第２の機器の使用に関連した第２の二酸化炭素排出量を含む、該第２の機器に特有の第２使用状況情報を受信する収集部と、
前記第１使用状況情報及び前記第２使用状況情報を記憶する記憶部と、
出力情報に関する出力対象情報を受け付ける受付部と、
記憶された前記第１使用状況情報に含まれる前記第１の二酸化炭素排出量から、単位時間あたりの二酸化炭素排出量である第１処理効率を算出し、記憶された前記第２使用状況情報に含まれる前記第２の二酸化炭素排出量から、単位時間あたりの二酸化炭素排出量である第２処理効率を算出する演算部と、
前記第１処理効率及び前記第２処理効率に基づいて、前記第１の機器と前記第２の機器のうち、前記出力情報に対応する前記出力情報を出力する場合に二酸化炭素排出量が少ない方を、前記出力情報を出力するための出力機器として特定する特定部と、
を備えた情報処理装置。

【請求項２】
前記第１の機器は、画像を紙媒体に出力可能な画像形成装置であり、前記第２の機器は、画像を画面に表示する表示機器であり、
前記収集部は、前記画像形成装置から前記第１の使用状況情報を受信し、前記表示機器から前記第２の使用状況情報を受信し、
前記特定部は、前記画像形成装置と前記表示機器とから前記出力機器を特定する、請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項３】
特定した前記出力機器を示す情報を画面に表示する提示部を更に備えた、請求項１または請求項２に記載の情報処理装置。
【請求項４】
前記提示部は、前記出力機器が前記出力情報を出力する場合の二酸化炭素排出量を前記画面に更に表示する、請求項３に記載の情報処理装置。
【請求項５】
前記出力対象情報は、前記出力情報の情報量を含む、請求項１～請求項４の何れか１項に記載の情報処理装置。
【請求項６】
通信インタフェイスと、
前記通信インタフェイスを介して、第１の機器から該第１の機器の使用に関連した第１の二酸化炭素排出量を含む、該第１の機器に特有の第１使用状況情報を受信し、第２の機器から該第２の機器の使用に関連した第２の二酸化炭素排出量を含む、該第２の機器に特有の第２使用状況情報を受信する収集部と、
前記第１使用状況情報及び前記第２使用状況情報を記憶する記憶部と、
出力情報に関する出力対象情報を受け付ける受付部と、
記憶された前記第１使用状況情報に含まれる前記第１の二酸化炭素排出量から、単位時間あたりの二酸化炭素排出量である第１処理効率を算出し、記憶された前記第２使用状況情報に含まれる前記第２の二酸化炭素排出量から、単位時間あたりの二酸化炭素排出量である第２処理効率を算出する演算部と、
前記第１処理効率及び前記第２処理効率に基づいて、前記第１の機器と前記第２の機器のうち、前記出力情報に対応する前記出力情報を出力する場合に二酸化炭素排出量が少ない方を、前記出力情報を出力するための出力機器として特定する特定部と、
を備える情報処理システム。
【請求項７】
第１の機器、第２の機器、及び情報処理装置によって実行される情報処理方法であって、
前記第１の機器から前記情報処理装置に、該第１の機器の使用に関連した第１の二酸化炭素排出量を含む、該第１の機器に特有の第１使用状況情報を送信するステップと、
前記第２の機器から前記情報処理装置に、該第２の機器の使用に関連した第２の二酸化炭素排出量を含む、該第２の機器に特有の第２使用状況情報を送信するステップと、
出力情報に関する出力対象情報を前記情報処理装置に送信するステップと、
算出された第１処理効率、第２処理効率、及び前記出力対象情報に基づいて、前記情報処理装置によって前記第１の機器と前記第２の機器とから前記出力情報を出力するための出力機器として特定された出力機器の情報を画面に出力するステップと、を含み、
前記特定された出力機器は、前記出力情報を出力する場合の二酸化炭素排出量が前記第１の機器と前記第２の機器のうちの他の機器よりも少なく、
前記第１処理効率は、前記情報処理装置によって、前記情報処理装置に記憶された前記第１使用状況情報に含まれる前記第１の二酸化炭素排出量から算出され、前記第２処理効率は、前記情報処理装置によって、前記情報処理装置に記憶された前記第２使用状況情報に含まれる前記第２の二酸化炭素排出量から算出され、
前記第１処理効率及び前記第２処理効率は単位時間あたりの二酸化炭素排出量である、

情報処理方法。